
サウジアラビアビジネスマッチングツアー

－ 報告書 －

2014年9月24日

ダックケーブル(株)

竹則 辰秋

1. 渡航概要

渡航期間：2014年9月5日～9月11日 1週間

渡航主要メンバー：北川中小企業庁長官、白石徹先生他国会議員4名 合計39名

渡航主要目的：サウジアラビアの中小企業と日本の中小企業とのビジネスマッチング

当社の目的：開発中の糖尿病予防システムの海外展開に係る可能性の確認

主要訪問先：リアド日本大使館、MODONサウジアラビア工業用地公団、
KAECキングアブドラ経済都市、KAUSTキングアブドラ科学技術大学、
リアド商工会議所、ジッタ商工会議所、SAGIAサウジ総合投資院

ビジネスマッチング面談対応社数：リアド5社 ジッタ8社 合計13社(当社ブース訪問者数)

2. 結果： 渡航の結果わかったこと

- ・ 国民の半数以上が糖尿病で小学生でも患者が居る、視察した小学校に糖尿病の本が置いてあった
- ・ 国王家の絶大な権力
- ・ 一部の富豪の隆盛
- ・ 金はふんだんに使うが・・・建国90年あまりの歴史しか無く、文化は根付いていない
- ・ 食事などはほとんどが海外からの流入文化

★ ビジネスマッチングや日本大使館晩餐会更にKAUST視察時を通じて、「サウジに糖尿病予防は必要である」と言うことが判明、しかし「治療よりも予防」「健康づくりのための運動」などの概念が乏しく医薬に頼る現状がある。お金＝権力、国王家や財閥と共にお金と権力を味方に付けて事業を展開することが肝心。

当社がサウジ展開を図るには、単独挑戦するのでは無く、健康管理システムメーカーなど大企業と協同で10年スパンで取り組むことが求められる。

このためにはまず日本国内で、当該事業を成功に導くことが肝心。

ビジネスマッチング考察：

現地企業や商工会議所としても糖尿病予防には興味を持っている(少なくとも必要なことであるという認識はある)が、当社のシステムを導入するために、産官学医の協力が必要と言うことを理解してくれたのは、面談した13社の内3社程度であった。

3. その他現地情報(日本大使館歓迎晩餐会・KAUST授業ゲスト参加にて)

① 三井物産サウジアラビア支店

- ・ サウジアラビアを含むイスラム圏で「糖尿病予防」は可能性がある。特にサウジでは 50%以上が糖尿病で国家として問題になっている。
- ・ イスラム圏を攻略するにはサウジからが鉄則だ。一つの言語で世界観もほぼ共通する3億人が市場として取り込める、ヨーロッパは5億人の商圏だが21言語で世界観も大きく異なる。
- ・ ただ、糖尿病予防という概念がなく、浸透には時間を要するであろう、フィットネスクラブもたくさん出来はじめているが、健康管理目的と言うよりは一部富豪のファッションとして流行始めている。
- ・ 治療よりも予防・・・と言う概念教育も含め事業を検討することが大事。

② KAUST キングアブドラ科学技術大学

- ・ 国家的な課題で、現状では医療・医薬が中心だが、予防の観点での展開は今後必要だと認識している。
- ・ サウジで本件研究が出来るのは当校しかないでしょうね・・・
- ・ 糖尿病にかかるデータは1,000人規模で今取りかかっていますよ
- ・ 取り組むには、お金がかかりますね・・・(暗にKAUSTとの協同事業とするには、世界の一流企業で無いと難しい・・・大学敷地内に既に欧米の科学系企業が進出している)サウジに展開している先発企業との連携が必須です。

K A E C: 砂漠の真ん中に、人口600万人規模の都市を建設中、建設開始から10年港湾など20%程度が完成。ほぼ大阪市並の都市を砂漠に建設していることになるが、規模が壮大すぎてあきれれるほど。

K A U S T: 80人の教授に800人の学生に対して年額800億円が使われている。世界から優秀な学生が集まっている。日本人の学生や教授も居た。

大学敷地内に、ゴルフ場・プライベートマリーナ・病院・教授と学生のためのマンションなどが整備されており、海外からの進出企業も学内敷地に研究施設を建設している。

学内研究施設は世界でも有数の施設ばかり「世界1や2がずらりと並ぶ」
わずか5年前に建学開設、進出企業も増えているとのこと。

4. 雑学

- ・ 水は海水を淡水化(東芝のプラント)して使っている、リアドへは海岸沿いの淡水化プラントからパイプラインで運んでいるが、ホテルの水は黄色く色がついていた、飲み水はミネラルウォーター。
- ・ 土地は広大であるが全て砂漠・・・川が無い。
- ・ リアドは気温46度、湿度5% ジッタは気温36度 湿度60%。
- ・ 20歳になると国から300㎡の土地と家が支給される(マンションなどの選択可)
- ・ 医療費、学費、は無料。水道光熱費は3千円@月程度 ガソリンは10円@1ℓ。
- ・ 大半の人が肥満傾向にある(衣装が体型を隠しているため)肥満を隠せるので気にしなくても良い。
- ・ 日本の企業で有名なのは①住友②TOYOTA。
- ・ 現地ガイドの話・・・ヨーロッパ車や韓国の車は猛暑の中でエアコンが効かなくなる、TOYOTAの車はどんなに猛暑でもしっかり冷える、高くてもTOYOTAが欲しい。
- ・ 宗教・・・コーランが朝4時半を始めに数回町中に鳴り響く、皆お祈りをおするため、仕事は中断、事務所は空っぽになっている。
- ・ 男女・・・男女同じ職場は御法度、視察したユニチャームの工場では女性専用工場が整備されていた。サウジ進出条件で20%以上サウジ人採用が定めてあるそうで、特に女性の場合は男性の4倍の頭数カウントされるので政策上女性工場を建設している。
- ・ 一夫多妻・・・3～4人の妻を持つのが普通(子どもは8人から15人程度)。
- ・ 勤労意欲:少ないと言える、3Kは嫌い、管理職を希望する人が多い。このため労働者は大半が外国人(東南アジア等)、出稼ぎの場となっている。
- ・ 酒は御法度、日本大使館では振る舞われたが、他ではコーラやジュース。サウジを離れてドバイなど国外でアルコールを飲むようだ。
- ・ セキュリティーには厳しい、建物の写真も監視カメラを写してはいけない。出入国審査も異常な位厳しい。KAUST大学への入場も審査に45分もかかった。
- ・ KAUSTでは治外法権、女性もミニスカート、顔を隠すことも無く・・・日本と変わらない大学生活の雰囲気。・・・しかしアルコールは販売していないし、学食にも無い。
- ・ 学食の料理と日本大使館の料理が美味しかった。